

心を折られそうになる
くらい好き。

——芦沢央

書き下ろしの表題作に
頭ぶち抜かれた。

——阿津川辰海

圧巻はやはり表題作。

極限状況下でのロジカルな思考と信
頼と希望の物語。傑作。

——大山誠一郎

めちゃくちゃよかった。

特に表題作がすごい迫力。絶望的状況
下で、なお進もうとする登場人物が熱い。

——似鳥鶏

大絶賛の声、
続々！

11文字の檻

青崎有吾短編集成